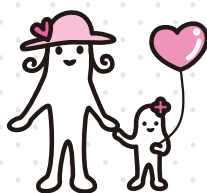




image photo

Re:KIZUNA

キズナの再生



MACHI
FES
LABO



将来検討に「キズナの再生」は欠かせません。

Re:KIZUNA

「まちの活気の無さを嘆く声」を今、多くの団地やマンションで非常に耳にする事が多くなっています。

絆意識が高まる昨今、首都圏居住者に実施された「震災後の意識変化」調査によると95%の方が震災後「住民同士の繋がり・コミュニティ」が大切だと思えると答えられました※。しかしながら少子高齢化は加速する一方で、老朽化した高経年マンションからは若年層が転出し、地域活力の低下が見られ、また地域毎に課題は多様化し、自治会の

担い手不足、商店の撤退、高齢者の孤独死、コミュニティの希薄化など問題は多岐にわたります。だからこそ今、私たちは豊かなコミュニティの形成をお手伝いし、地域の活性化、見守り機能としてのコミュニティの育成、人と人との繋がりが感じられる素敵なキズナの再生をみなさまと一緒に目指します。

※出典：長谷工アーベスト 首都圏居住者の「震災後の意識変化」(調査期間：2011年9月2日～9月5日、有効回答件数2,439件)



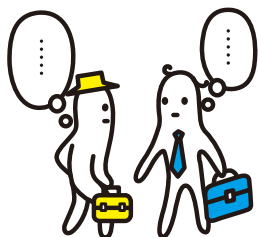
様々な企画で、キズナの再生をお手伝いします。

Event Planning

さまざまなイベントを通じ、地域の人々がぬくもりある交流を。

人と人とのぬくもりある
交流が自然と育まれるよう、
地域コミュニティの活性化を図るさまざまな
イベントを地域の方々と協
力し合って開催致します。

step 1



団地内でのコミュニケーションが希薄。地域のコミュニティを大切にしたいなあ。

step 2

暮らし再生
プロジェクトに
相談しよう!

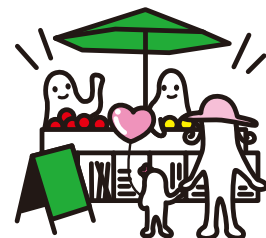


step 3



まちのみんなとこのまち
ならではのイベント計画
をお手伝い致します。

step 4



多世代間の交流や、す
れ違う人々が自然と挨拶を
交わすコミュニティ豊かなまち。



たとえば、コミュニティ・カフェ。

Community CAFE

カフェタイプの多世代交流拠点として、住民主体
による多様なイベントを開催してみたいかがで
しょう。(たとえば幼老交流イベントなど)



image photo



たとえば、まちフェス。

MACHI FES



まちの特性や住民のキモチを踏まえた、そのまちな
らではのイベント「まちフェス」。地域の方々と一体と
なった「まちおこし」を行ってはいかがでしょう。



image photo